

## 6年 社会科「国力の充実をめざす日本と国際社会」

足立区立西新井小学校

### ■本時の目標

日本が江戸時代に結んだ欧米諸国との不平等条約を改正することができた理由を考えることを通して、明治・大正期に日本の国力が充実していったことについて自分の考えをまとめ、学習問題に対する答えを表すことができる。

不平等条約改正を実現できた理由について、既習の歴史的事象から構成要素を洗い出し、それらを分類、整理し、まとめることで、構造的に理解することができる。

### 本時の流れ

	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価
導入	1 歴史年表を提示し、不平等条約の締結から改正までの主な出来事を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○不平等条約の内容や、条約が欧米諸国からの強い圧力に押される形で締結されたことを確認する。
	<p style="text-align: center;">日本は、なぜ不平等条約を改正することができたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本が欧米諸国に近代的な国家として認められたことが理由の一つではないか？</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>対象の明確化</b></p> <p>○不平等条約改正は既習事項であるので、その内容を想起して児童に予想させる。</p>
展開1	2 年表に表された時代から、近代的な国家として認められたことや、不平等条約改正に関係していると考えられる事象を取り出す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>大日本帝国憲法 ・ 選挙制度 ・ 八幡製鉄</li> <li>日清戦争 ・ 野口英世 ・ 重工業 など</li> </ul>	<p>○初めは、思いつくものを多く挙げさせる。</p> <p><b>構成要素の洗い出し</b> ○その上で、本時の課題に関係しているものを精選させる。</p> <p><b>構成要素の精選</b> ○これら構成要素はタブレットで記入する。</p>
	3 小グループで話し合いながら、それぞれの事象を分類、整理し、その仲間ごとに見出しをつける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>戦争で強い国 ・ 近代的な政治の仕組み</li> <li>産業の発展と日本人の活躍 など</li> </ul>	<p><b>機能の明確化</b></p> <p>○タブレットで記入した構成要素を移動させたり、大きく困ったりして見やすく整理し、見出しを付けるようにさせる。</p>
展開2	4 それぞれのグループの整理した図を比較し、共通点を捉える。そして、本時の課題に対する答えを文章で書き表す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本が戦争で勝利したことや、近代的な政治の仕組みが整ったこと、産業が発達したことや世界での日本人の活躍があり、日本が近代的な国として認められたから条約が改正できた。</li> </ul>	<p>○構成図で書いた見出しの文言に着目し、学習課題に正対する答えを書くことができるように指導、助言をする。</p> <p>○多くの児童が書けた段階で、互いに読み合ったり、全体で発表し合ったりする場面をもつ。</p>
まとめ	5 単元の学習全体を振り返り、この時代（1877年ごろ～1925年ごろ）が日本にとってどのような時代であったのかを、文章に書き表す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>国力の充実 ・ 欧米諸国と対等</li> <li>近代的な政治制度の確立 など</li> </ul>	<p>★不平等条約を改正できた理由について、構成図をもとに説明し、明治・大正期の日本の国力が充実していった様子を適切に捉えている。</p>

